

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道58号 読谷道路
事業主体	沖縄総合事務局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの指標
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比 (B/C) = 3.0 (経済的純現在価値 (B-C) = 1,100億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 11.0%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 3.6 (経済的純現在価値 (B-C) = 917億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 14.3%)

●事業の効果や必要性の評価評価に対応する事後評価項目

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティの 確保	● 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間 当該区間及び並行区間について：現国道58号、県道16号、県道6号 当該区間の渋滞損失時間：整備なし606万人・時間/年、整備あり236万人・時間/年 当該区間の渋滞損失削減率：約6割削減
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	国道58号を利用する既存バスルートの定時性の確保が期待される。 ⇒沖縄バス・琉球バス 計94便/日 (平日) [29.62系統往復21便 (那覇～読谷)、コミュニティバス9便、20・120系統：往復64便 (那覇～名護)]
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	読谷村役場から那覇空港までの旅行時間 ・現況 (国道58号) : 87分 ・将来 (完成供用) : 82分 【5分短縮】
物流効率化 の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	読谷村役場から那覇港までの旅行時間 ・現況 (国道58号) : 86分 ・将来 (完成供用) : 82分 【4分短縮】
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	読谷道路沿道に整備中のファーマーズマーケットに併設される集出荷場から、空港、港湾へ、セミトレーラー級の車両での運搬が可能となる。
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	読谷道路を含む地区 (17.8ha) にて「大木地区土地区画整理事業」を実施中 (H22組合設立予定)。 読谷道路を含む読谷補助飛行場跡地における、公共施設、道路、農地の基盤整備が進行中
	□ 中心市街地内で行う事業である	
都市の再生	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
	□ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上) への連絡道路となった	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけあり	
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	平成6年に「沖縄西海岸道路」が地域高規格道路に指定され、その一部を形成している。
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	読谷村役場から沖縄県庁へのアクセス向上 ・整備前：読谷村役場－現国道58号－沖縄県庁 74分 ・整備後：読谷村役場－読谷道路－沖縄県庁 69分(5分短縮)
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	読谷道路を含む地区（17.8ha）にて「大木地区土地区画整理事業」を実施中（H22組合設立予定）。読谷道路を含む読谷補助飛行場跡地における、公共施設、道路、農地の基盤整備が進行中
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	座喜味城址から北谷（アメリカンビレッジ）へのアクセス向上 ・整備前：座喜味城址－現国道58号－北谷 25分 ・整備後：座喜味城址－読谷道路－北谷 23分(2分短縮)
		■ 特別立法に基づく事業である	沖縄振興特別措置法（平成十四年三月三十一日法律第十四号）
		■ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	読谷補助飛行場跡地に一体的整備を行っている役場、運度広場、ファーマーズマーケット（JA）に隣接
<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	読谷村役場から中部病院 ・整備前：読谷村役場－現国道58号－中部病院 31分 ・整備後：読谷村役場－読谷道路－中部病院 29分(2分短縮)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	並行する国道58号は、第1次緊急輸送道路に位置付けられており、迂回路としての機能が期待される。
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：1.5万t-CO2/年 （整備なし207.2→整備あり205.7万t-CO2/年）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	※自動車NOx・PM法対策地域指定外（推計結果）評価対象区間（現道/並行区間等）：（読谷道路） 排出削減量：37.8t/年 排出削減率：約21%削減 （整備なし183.1→整備あり145.2t/年）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	※自動車NOx・PM法対策地域指定外（推計結果）評価対象区間（現道/並行区間等）：（読谷道路） 排出削減量：3.5t/年 排出削減率：約20%削減 （整備なし17.3→整備あり13.7t/年）
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	読谷村第2次都市計画マスタープランの幹線道路網計画の主軸として位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	読谷道路の南端は現道の国道58号に合流しないため、南端に接続する沖縄西海岸道路との一体的な整備が求められている。
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道58号	読谷道路	L=6.0km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
27,500	4	沖縄総合事務局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	594億円	101億円	695億円
うち残事業分	457億円	114億円	571億円
基準年における 現在価値 (C)	504億円	42億円	546億円
うち残事業分	321億円	33億円	353億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成16年度			
単年便益 (初年便益)	15億円	2.2億円	0.44億円	17億円
基準年における 現在価値 (B)	1,381億円	194億円	71億円	1,646億円
うち残事業分	1,066億円	140億円	65億円	1,271億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	3.0
経済的純現在価値（事業全体）	1,100億円
経済的内部収益率（事業全体）	11.0%
費用便益比（残事業）	3.6
経済的純現在価値（残事業）	917億円
経済的内部収益率（残事業）	14.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	27,500台/日	±10%	3.4~3.8
事業費	457億円	±10%	3.3~4.0
事業期間	13年	±20%	3.4~3.7

交通状況の変化

様式-3①

事業名：読谷道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [読谷道路： 6.0km]	交通量	[台/日]		27,500	
	走行時間	[分]		6.7	
	走行時間費用	[億円/年]		35	
②主な周 辺道路	現道(国 道58号) : 4.7km	交通量	[台/日]	57,800	32,300
		走行時間	[分]	12	8.3
		走行時間費用	[億円/年]	151	54
	(県)6号 : 4.5km	交通量	[台/日]	13,300	10,000
		走行時間	[分]	14	11
		走行時間費用	[億円/年]	44	31
	(県)16号 : 1.0km	交通量	[台/日]	17,800	11,400
		走行時間	[分]	4.8	3.3
		走行時間費用	[億円/年]	16	6.5
③その他道路合計 延長：1.360km	走行時間費用	[億円/年]	7,721	7,701	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,376km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,932	7,828	104

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：読谷道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [読谷道路： 6.0km]	交通量	[台/日]	24,000	27,500	
	走行時間	[分]	6.8	6.7	
	走行時間費用	[億円/年]	29	35	
②主な周辺道路	現道(国道58号) : 4.7km	交通量	[台/日]	50,600	32,300
		走行時間	[分]	11	8
		走行時間費用	[億円/年]	112	54
	(県)6号 : 4.5km	交通量	[台/日]	15,600	10,000
		走行時間	[分]	18	11
		走行時間費用	[億円/年]	55	31
	(県)16号 : 1.0km	交通量	[台/日]	6,000	11,400
		走行時間	[分]	2.5	3.3
		走行時間費用	[億円/年]	2.9	6.5
③その他道路合計 延長：1.360km	走行時間費用	[億円/年]	7,713	7,701	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,376km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,911	7,828	84

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：読谷道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	H22	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>	
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H17、42)	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.49	6.0	2.9

箇所名: 読谷道路(事業全体)
基準年 H 22

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-17年目	S 62	2.4647	94.4	0.30	0.72		
-16年目	S 63	2.3699	94.9	0.20	0.46		
-15年目	H 1	2.2788	97.4	0.19	0.41		
-14年目	H 2	2.1911	99.6	0.00	0.00		
-13年目	H 3	2.1068	102.0	2.1	4.0		
-12年目	H 4	2.0258	103.4	1.8	3.3		
-11年目	H 5	1.9479	103.7	0.68	1.2		
-10年目	H 6	1.8730	103.6	8.4	14		
-9年目	H 7	1.8009	103.0	7.8	13		
-8年目	H 8	1.7317	102.4	9.2	14		
-7年目	H 9	1.6651	103.4	2.5	3.6		
-6年目	H 10	1.6010	102.8	21	29		
-5年目	H 11	1.5395	101.3	14	20		
-4年目	H 12	1.4802	99.7	7.9	11		
-3年目	H 13	1.4233	98.4	26	34		
-2年目	H 14	1.3686	96.6	11	14		
-1年目	H 15	1.3159	95.4	8.0	10		
供用開始年次	H 16	1.2653	94.4	7.0	8.6	0.52	0.64
1年目	H 17	1.2167	93.2	2.9	3.5	0.52	0.62
2年目	H 18	1.1699	92.5	4.6	5.3	0.52	0.60
3年目	H 19	1.1249	91.7	0.90	1.0	0.52	0.58
4年目	H 20	1.0816	91.3	0.05	0.06	0.52	0.56
5年目	H 21	1.0400	91.3	0.25	0.26	0.52	0.54
6年目	H 22	1.0000	91.3	0.95	0.95	0.52	0.52
7年目	H 23	0.9615	91.3	0.95	0.92	0.52	0.50
8年目	H 24	0.9246	91.3	4.0	3.7	0.52	0.48
9年目	H 25	0.8890	91.3	9.5	8.5	0.52	0.46
10年目	H 26	0.8548	91.3	15	13	0.52	0.44
11年目	H 27	0.8219	91.3	24	20	0.52	0.43
12年目	H 28	0.7903	91.3	50	39	0.52	0.41
13年目	H 29	0.7599	91.3	42	32	0.52	0.40
14年目	H 30	0.7307	91.3	43	31	0.52	0.38
15年目	H 31	0.7026	91.3	51	36	0.52	0.37
16年目	H 32	0.6756	91.3	24	16	0.52	0.35
17年目	H 33	0.6496	91.3	65	42	2.4	1.6
18年目	H 34	0.6246	91.3	65	40	2.4	1.5
19年目	H 35	0.6006	91.3	65	39	2.4	1.5
20年目	H 36	0.5775	91.3			2.8	1.6
21年目	H 37	0.5553	91.3			2.8	1.6
22年目	H 38	0.5339	91.3			2.8	1.5
23年目	H 39	0.5134	91.3			2.8	1.5
24年目	H 40	0.4936	91.3			2.8	1.4
25年目	H 41	0.4746	91.3			2.8	1.3
26年目	H 42	0.4564	91.3			2.8	1.3
27年目	H 43	0.4388	91.3			2.8	1.2
28年目	H 44	0.4220	91.3			2.8	1.2
29年目	H 45	0.4057	91.3			2.8	1.1
30年目	H 46	0.3901	91.3			2.8	1.1
31年目	H 47	0.3751	91.3			2.8	1.1
32年目	H 48	0.3607	91.3			2.8	1.0
33年目	H 49	0.3468	91.3			2.8	0.98
34年目	H 50	0.3335	91.3			2.8	0.94
35年目	H 51	0.3207	91.3			2.8	0.90
36年目	H 52	0.3083	91.3			2.8	0.87
37年目	H 53	0.2965	91.3			2.8	0.84
38年目	H 54	0.2851	91.3			2.8	0.80
39年目	H 55	0.2741	91.3			2.8	0.77
40年目	H 56	0.2636	91.3			2.8	0.74
41年目	H 57	0.2534	91.3			2.8	0.71
42年目	H 58	0.2437	91.3			2.8	0.69
43年目	H 59	0.2343	91.3			2.8	0.66
44年目	H 60	0.2253	91.3			2.8	0.64
45年目	H 61	0.2166	91.3			2.8	0.61
46年目	H 62	0.2083	91.3			2.8	0.59
47年目	H 63	0.2003	91.3			2.8	0.56
48年目	H 64	0.1926	91.3			2.8	0.54
49年目	H 65	0.1852	91.3	-50	-9.3	2.8	0.52
合計				544	504	101	42
単純事業費計				594		101	

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 読谷道路(残事業)
基準年 H 22

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.46	6.0	2.8

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 23	0.9615	91.3	0.95	0.92		
-9年目	H 24	0.9246	91.3	4.0	3.7		
-8年目	H 25	0.8890	91.3	9.5	8.5		
-7年目	H 26	0.8548	91.3	15	13		
-6年目	H 27	0.8219	91.3	24	20		
-5年目	H 28	0.7903	91.3	50	39		
-4年目	H 29	0.7599	91.3	42	32		
-3年目	H 30	0.7307	91.3	43	31		
-2年目	H 31	0.7026	91.3	51	36		
-1年目	H 32	0.6756	91.3	24	16		
供用開始年次	H 33	0.6496	91.3	65	42	1.9	1.2
1年目	H 34	0.6246	91.3	65	40	1.9	1.2
2年目	H 35	0.6006	91.3	65	39	1.9	1.2
3年目	H 36	0.5775	91.3			2.3	1.3
4年目	H 37	0.5553	91.3			2.3	1.3
5年目	H 38	0.5339	91.3			2.3	1.2
6年目	H 39	0.5134	91.3			2.3	1.2
7年目	H 40	0.4936	91.3			2.3	1.1
8年目	H 41	0.4746	91.3			2.3	1.1
9年目	H 42	0.4564	91.3			2.3	1.1
10年目	H 43	0.4388	91.3			2.3	1.0
11年目	H 44	0.4220	91.3			2.3	0.97
12年目	H 45	0.4057	91.3			2.3	0.93
13年目	H 46	0.3901	91.3			2.3	0.90
14年目	H 47	0.3751	91.3			2.3	0.86
15年目	H 48	0.3607	91.3			2.3	0.83
16年目	H 49	0.3468	91.3			2.3	0.80
17年目	H 50	0.3335	91.3			2.3	0.77
18年目	H 51	0.3207	91.3			2.3	0.74
19年目	H 52	0.3083	91.3			2.3	0.71
20年目	H 53	0.2965	91.3			2.3	0.68
21年目	H 54	0.2851	91.3			2.3	0.66
22年目	H 55	0.2741	91.3			2.3	0.63
23年目	H 56	0.2636	91.3			2.3	0.61
24年目	H 57	0.2534	91.3			2.3	0.58
25年目	H 58	0.2437	91.3			2.3	0.56
26年目	H 59	0.2343	91.3			2.3	0.54
27年目	H 60	0.2253	91.3			2.3	0.52
28年目	H 61	0.2166	91.3			2.3	0.50
29年目	H 62	0.2083	91.3			2.3	0.48
30年目	H 63	0.2003	91.3			2.3	0.46
31年目	H 64	0.1926	91.3			2.3	0.44
32年目	H 65	0.1852	91.3			2.3	0.43
33年目	H 66	0.1780	91.3			2.3	0.41
34年目	H 67	0.1712	91.3			2.3	0.39
35年目	H 68	0.1646	91.3			2.3	0.38
36年目	H 69	0.1583	91.3			2.3	0.36
37年目	H 70	0.1522	91.3			2.3	0.35
38年目	H 71	0.1463	91.3			2.3	0.34
39年目	H 72	0.1407	91.3			2.3	0.32
40年目	H 73	0.1353	91.3			2.3	0.31
41年目	H 74	0.1301	91.3			2.3	0.30
42年目	H 75	0.1251	91.3			2.3	0.29
43年目	H 76	0.1203	91.3			2.3	0.28
44年目	H 77	0.1157	91.3			2.3	0.27
45年目	H 78	0.1112	91.3			2.3	0.26
46年目	H 79	0.1069	91.3			2.3	0.25
47年目	H 80	0.1028	91.3			2.3	0.24
48年目	H 81	0.0989	91.3			2.3	0.23
49年目	H 82	0.0951	91.3	-4.5	-0.43	2.3	0.22
合計				452	321	114	33
単純事業費計				457		114	

